

南予森林アカデミーだより

あけまして
おめでとうございます
今年もご安全に！



発行：南予森林管理推進センター
住所：愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良4073番地7
電話：0895-49-5083 FAX：0895-49-5084
E-mail：web-master@nanyo-sks-center.org

令和7年度研修も終盤に！！

10月からはインターンシップが主体です。インターンシップ先では演習林での研修で伐採した総本数を1日で上回るくらい伐らせてもらった日もあったということです。
11月は大分県で県外研修。おおいした林業アカデミーでは、今年度で節目の第10期生となり、10人女性3人が研修中とのこと。研修や指導体制、修了生へのフォローアップ等について、情報交換をしました。



インターンシップ先で伐木



(株)九州木材市場
2連トラックが次々入場



(株)ナンブ木材流通
木材に刻印されたID

日田市では、全国でも屈指の取扱量を誇る(株)九州木材市場を見学、山林の買取・伐木・再造林等、一貫した取組みを伺いました。続いて(株)ナンブ木材流通では、ほぼ全ての丸太にIDを刻印するシステムや営業員を配しての山林・立木の買取について伺いました。市内には50社を超える地場製材工場があり、両社とも地元市場との関係は今後も大切にしていきたいとのことでした。

日田杉資料館では、日田林業の変遷の他、平成3年の台風19号で倒伏した樹齢数百年の杉が展示されており自然の脅威をあらためて

痛感しました。
今後は、1月でインターンシップを終え、2月は総仕上げの研修、3月の修了式を迎えます。



公開講座及び初心者向け チェーンソーワーク講座を開催

昨年が続いて2回目となる公開講座、森林生態学は11人が参加、講師はNPO法人西条自然学校理事長で森林整備にも取り組んでいる山本貴仁さん。座学と成川溪谷での現地研修を通じて、愛媛の森林の特徴、植生の変化（重機に頼らない）林業への取組み、鳥獣害の実情、森林の生物相等、様々な角度から学びました。

チェーンソーワーク講座は5人の募集に多くの申込があり、急遽2回に分けての実施となり、それぞれ9人が参加しました。講師はアカデミーの講師も務める戸田正和さん。座学と演習場での実習で特に安全な作業、基本操作とメンテナンスを学びました。初めてチェーンソーに触れるという方も数人いましたが、



方も数人いましたが、輪切り・水平切り、受口・追口の入れ方等を体験し、皆さん一様に楽しく有意義だったということでした。和気あいあい参加者同士の交流もできました。



今後このような講座を継続し、地域の方に林業やアカデミーへの関心を高めていただけるよう取り組みます。



第2回参加者のみなさん



第1回参加者のみなさん



森林生態学講座

研修生交流会を開催

12月6日、アカデミーとしては初めてとなる全期（1期〜4期生）の修了生・研修生を対象とした近況報告会を開催しました。これは、アカデミーが1年制のため年ごとに研修生が入り替わり、研修生同士の繋がりがいいことから、同窓会的な活動として開催したものです。

当日は、師走の忙しい時期でしたが研修生・修了生8人（1期生2人、2期生3人、3期生1人、4期生2人）と事務局3人が参加しました。1期生から順に近況報告を行い、互いに初対面の参加者も多かったようですが、和やかに懇談が進みました。事務局職員は1期生に関わった者はいないので、発足時の状況等興味深く聞かせていただきました。

事務局からは、今年度新たに実施した公開講座やチェーンソーワーク講座について、予定以上の参加者があり、アカデミー希望者もあったことや新たな演習林についても報告しました。初めての開催で限られた時間でしたが、有意義に交流することができました。今後同窓会活動の一つとして継続して開催する予定です。



新演習林を整備

研修生の主要な研修場所である演習林について、研修による伐木・集材等で整備がかなり進んだことから、来年度から鬼北町奈良の「谷山奥共有地管理委員会」のご厚意で同会が所有する山林を新たな演習林として借用することとなりました。

現演習林の南西に位置し、標高は370m程度ですが、直接は繋がっておらず進入道がやや遠回りになるため、センターからは約25分かかります。

林道の凹凸が目立ち、作業道も未整備であったので、環境整備のため12月に林道には砕石を投入しての整備と作業道の開設を行いました。第5期生は新たな演習林で安全第一に思い切り研修します。



林道整備



作業道開設

外部有識者委員会を開催

12月3日、令和7年度外部有識者委員会を開催しました。これは、6年度から『緑の青年就業準備給付金事業』の給付金を受給した研修生の林業分野への就業定着への関するアカデミーの取組について、外部の有識者から評価を受けることが義務付けられたことによりです。

委員会では、5人の委員から様々な意見をいただきました。主なものとしては、事業体との連携や修了生へのフォローアップを適切に行うことです。本アカデミーだよりも、昨年の委員会検討して発行することになったものです。今後は、修了生と研修生の交流会等を検討しておりますので、ご協力をお願いします。

また、関連して研修生の確保も話題となり、林業関連学科を有する高校への就職ガイダンス参加等の提案をいただきました。また、今年度実施したチェーンソー講座等の参加者にアカデミーへの関心が高かったことから、今後引き続き一般の方を対象とした講座の開催していきます。

編集後記

令和8年度（第5期生）の研修生募集について、前期募集では応募者は無く、後期募集も数人から申し込みがある見込みですが、現時点では応募待ちの状態です。全国的にも同じような傾向で、近年定員を確保できていない林業大学校等が多いようです。

一般の求人が好条件で推移していることもあり、当アカデミーはまだまだ知名度不足があります。今後は様々な機会を通じて、充実した研修内容等をアピールしていきます。皆さんのご協力をお願いします。

センターHP

